

1 学校運営の中期目標

現状と課題

○令和6年度全国学力・学習状況調査の平均正答率において、国語科では3.7ポイント、算数科では5.4ポイント全国平均を下回っていた。国語科では、全般的に知識・技能に関する事項で全国平均を上回っている反面、思考・判断・表現の力では「書くこと」「読むこと」で全国平均を下回っていた。また、短答式の問題では全国平均を上回る結果であったが、無回答率が高い傾向がうかがえた。算数科では、データの活用で全国平均に近い正答率であったが、図形や変化と関係の領域や思考・判断・表現の力において全国平均を下回っていた。一方、児童質問紙調査の結果は、「人が困っているときは、進んで助けている」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」の項目に肯定的な回答をした児童の割合が全国平均を上回っていたが、「自分にはよいところがある」「先生は、あなたの良いところを認めてくれている」「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」の項目に肯定的な回答をした児童の割合は全国平均を下回っていた。学習面では基礎・基本の定着と同時に、思考力・判断力・表現力を向上させるため、自ら学び考える力の育成に引き続き取り組む必要がある。生活面では、子ども同士の良好な関係づくりに肯定的な意識が育っていると思われ、強味といえる。今後の取り組みとして自己有用感や自己肯定感、教職員や身近な大人との安心できる関係づくりが求められる。

令和7年度末までに取り組む課題を次のとおり整理する。

- ◎ 互いを認め合う人間関係づくりをさらに進め、いじめの予防と自己肯定感の向上をめざす
- ◎ 互いを認め合う授業を進め、達成感・成就感を味わうとともに、自他の思考・判断・表現のよさに気づく学びと体力の向上をめざす
- ◎ 互いを認め合う読書運動や学習者用端末の活用を進め、学びの楽しさを味わう経験を広げる

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- ① 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%にする。【R5:93% R6:74.2%】
- ② 令和7年度の校内調査の「災害や防災について他人事ではなく、自分にも起こりうる事として考え行動できた」の項目について、肯定的に答える児童の割合を96%以上にする。【R5:98% R6:96%】
- ③ 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を令和3年度（77%）より5%以上増加させる。【R5:60.5% R6:64.5%】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ① 令和7年度の小学校学力経年調査の「学級の友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、最も肯定的に答える

児童の割合を 50%以上にする。【R5 : 39.9% R6:29.7%】

- ② 令和 7 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を 85%以上にする。【R5:87.5% R6:69.7%】
- ③ 規則正しい生活を身に付けている児童の割合（全国学力・学習状況調査の「朝食を毎日食べていますか」、「毎日、同じぐらいの時間に寝ていますか」、「毎日、同じぐらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする児童の割合）を令和 7 年度調査において、90%以上にする。【R5:93%、86.1%、95.4%
R6:93.6%、87.1%、83.9%】

【学びを支える教育環境の充実】

- ① 令和 7 年度末の校内調査の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用して、学習をしている」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を 90%にする。
【R5 : 48% R6:62%】
- ② 令和 7 年度の小学校学力経年調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を 76.5%以上にする。【R5 : 67.7% R6 : 61.3%】
- ③ 令和 7 年度末の保護者アンケートの「学校（担任も含む）は、保護者の意見や願いに応えようとしていますか。」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を、98%以上とする。
【R5 : 95% R6:95%】

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標

- ・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 85%以上にする。
【R6:78.5%】
- ・ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
【R6:1.86%】
- ・ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
【R6:6.0%】

学校の年度目標

- ① 令和 7 年度の小学校学力経年調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を 85%以上にする。
【R6:74.2%】
- ② 令和 7 年度の校内調査の「災害や防災について他人事ではなく、自分にも起こりうる事として考え行動できた」の項目について、肯定的に答える児童の割合を 95%以上にする。【R6:96%】
- ③ 令和 7 年度の全国学力・学習状況調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を前年度より増加させる。【R6:64.5%】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標

- ・ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 50%以上にする。【R6:29.7%】
- ・ 令和 7 年度の全国体力運動能力、運動習慣等調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を 85%以上にする。【R6:69.7%】
- ・ 規則正しい生活を身につけている児童の割合（全国学力・学習状況調査の「朝食を毎日食べていますか」、「毎日、同じぐらいの時間に寝ていますか」、「毎日、同じぐらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする児童の割合）を令和 7 年度調査において、90%以上にする。【R6:93.6%、87.1%、83.9%】

学校の年度目標

- ① 令和 7 年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
【R6:一学年で未達】
- ② 令和 7 年度の小学校学力経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を 0.1 ポイント以上増加させる。【R6:29.7%】
- ③ 令和 7 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を前年度以上にする。【R6:69.7%】
- ④ 規則正しい生活を身に付けている児童の割合（全国学力・学習状況調査それぞれに対して、肯定的に回答する児童の割合）を令和 7 年度調査において前年度以上にする。
「朝食を毎日食べていますか」【R6:93.6%】
「毎日、同じぐらいの時間に寝ていますか」【R6:87.1%】
「毎日、同じぐらいの時刻に起きていますか」【R6:83.9%】

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標

- ・ 授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。【新規 1 月時点で 40.3%】
- ・ 年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 80%以上にする。【R6:94%】

学校の年度目標

- ① 令和7年度末の校内調査の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用して、学習している」の項目について、「よく使っている（ほぼ毎日）」と答える児童の割合を60%にする。
（※以降、前年度よりUPを目標にする）【R6:62%】
- ② 令和7年度の小学校学力経年調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を前年度より増加させる。【R6:61.3%】
- ③ 令和7年度末の保護者アンケートの「学校（担任も含む）は、保護者の意見や願いに応えようとしていますか。」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を、95%程度とする。
【R6:95%】

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立歌島小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。【R6:74.2%】 ・ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。【R6:1.86%】 ・ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。【R6:0%】 <p>① 令和7年度の小学校学力経年調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を85%以上にする。【R6:74.2%】</p> <p>② 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を前年度より増加させる。【R6:64.5%】</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育活動全体を通じていじめ防止・命の大切さを考える取組を継続して実施する。歌島小学校「いじめを許さない合い言葉」を年間通じて徹底する取組を行う。また、いじめアンケートや心の天気、相談ボタンなどを活用し、いじめを早期に確認し、認知したケースについては、いじめ対策委員会などでその解消（事実確認の対策も含む）に組織的に取り組む。 <p>指標①「いじめ・いのちについて考える日」（校長講話、児童会の呼びかけ、学級指導等）の取組を各学期1回実施する。</p> <p>②児童理解研修（学期1回）及び生活指導全体会（原則月1回）、毎週職員打ち合わせを実施し、配慮を要する児童の状況や対応方法について迅速に情報共有し対応する。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が主体的に活躍できる場を積極的に設定して承認・称賛し児童の自己肯定感を高める。また、人と関わる喜びを味わい、豊かな人間関係を育むことができるよう、異学年交流や縦割り班活動に取り組む。 <p>指標① 学校行事で児童会や委員会等による主体的な取組を実施する（学期1回以上）。</p> <p>指標② 異学年の交流活動の機会を学期1回以上、縦割り班活動を年間10回以上実施する。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

取組内容①
取組内容②
後期への改善点
取組内容①
取組内容②

大阪市立歌島小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和7年度の小学校学力経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目について、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を50%以上にする。 【R6:29.7%】 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の小学校学力経年調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的答える児童の割合を85%以上にする。 【R6:69.7%】 規則正しい生活を身につけている児童の割合（全国学力・学習状況調査の「朝食を毎日食べていますか」、「毎日、同じぐらいの時間に寝ていますか」、「毎日、同じぐらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする児童の割合）を令和7年度調査において、90%以上にする。 【R6:93.6%、87.1%、83.9%】 <p>① 令和7年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。 【R6:一学年で未達】</p> <p>② 令和7年度の小学校経年校内調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を0.1ポイント以上増加させる。 【R6:29.7%】</p> <p>③ 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を前年度以上にする。 【R6:69.7%】</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的に話し合い活動を取り入れるとともに、紙・学習者用端末等を活用したドリル学習を徹底し、児童の基礎力の定着及び活用力の向上を図る。 ・校内研究を通して指導力の向上を図り、主体的・対話的で深い学びを実現する。 <hr/> <p>指標① 大阪市学力経年調査（国語・算数）について「授業の内容はよくわかる」の肯定的回答を平均 90%以上にする。 (R6:国 77%・算 73%)</p> <p>指標② 教員の授業公開研修会を年間 10 回以上実施する。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康生活週間を実施し、保健目標や栄養指導を活用しながら、早寝早起き朝ごはんの規則正しい生活習慣が身につくように指導する。 ・体力テストの結果を活用し、基礎的運動能力を向上させるための取組を、年間を通して計画的に実施する。 <hr/> <p>指標① 毎学期に 1 回の健康生活週間を設け、チェックカードで児童が自己評価できるとともに、今後の指導に活かす。</p> <p>指標② 基礎的運動能力を向上させるため駆け足週間等の取り組みを計画的に実施する。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>取組内容①</p> <p>取組内容②</p>	
後期への改善点	
<p>取組内容①</p> <p>取組内容②</p>	

大阪市立歌島小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 <ul style="list-style-type: none"> 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。【新規】 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を94%以上にする。【R6:94%】 <p>① 令和7年度末の校内調査の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用して、学習している」の項目について、「よく使っている（ほぼ毎日）」と答える児童の割合を60%にする。（※以降、前年度よりUPを目標にする）【R6:62%】</p> <p>② 令和7年度の小学校学力経年調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を前年度より増加させる。【R6:61.3%】</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進】 <ul style="list-style-type: none"> 学習者用端末を日常的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びを実現する。 校務支援システム等を活用して児童の日々の生活の状況を可視化し、実態把握に活用したり問題の早期発見、迅速な対応を実現したりする。 <hr/> 指標① 全学年で、学習者用端末を毎日活用する。 指標② スクリーニングシート等、校務支援システムで蓄積した情報を活用し、近隣校や区役所等関係機関と連携して児童の実態に応じた指導を行う。	
取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 <ul style="list-style-type: none"> 学校行事や会議、校務分掌について、これまでの取り組みを見直したり精選を図ったりして校務の効率化に努め、働き方改革を推進することで、教職員がより創造的な教育活動を展開できるようにする。 <hr/> 指標① 定時退庁をはかる「ゆとりの日」の週1回以上実施と、長期休業期間中の学校閉庁日を年間4日設定する。	
取組内容③【基本的な方向8 生涯学習の支援】 <ul style="list-style-type: none"> 歌島小学校の全ての子どもが生き生きと読書を楽しむために、より身近に本に親しめる取り組みを実施する。 <hr/> 指標① 読み聞かせ、学習者用端末の活用などで本や新聞等を読む取り組みを学期に1回実施する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
取組内容①	
取組内容②	
取組内容③	

後期への改善点
取組内容①
取組内容②
取組内容③